

2023 年度第 4 回愛媛県がん相談員研修ワーキング議事録

2024年2月22日（木）

13:30~16:05

司会：福島・大西・関木 書記：佐伯

施設名	参加者			
四国がんセンター	福島	大西	関木	篠原（欠）
愛媛大学医学部附属病院	塩見			
愛媛県立中央病院	武田	濱田		
市立宇和島病院	川中（欠）			
住友別子病院	和田			
済生会今治病院	松岡（欠）			
松山赤十字病院	佐伯			
事務	安宅			

- 1、 外部講師紹介 人間環境大学 総合心理学部総合心理学科公認心理士 武田知也先生
講義内容について、当日の予定確認
相談員のためのストレスマネジメント/レクチャーとセルフケア体験
武田先生より：セルフケアについてレクチャー予定
リラクゼーション呼吸法について 15-20分体験予定です
普段のリラクゼーション方法について QRコードで聞く予定
パソコンは MAC 使用予定、接続コード持参予定
塩見さん：研修の出だしのアイスブレイクでストレス発散方法にしていたが違う内容にする
- 2、 参加者 グループ・ファシリ分け、気になる参加者の共有
4グループに県外の申込者あり 緩和ケア病棟がある病院の MSW 勤務経験あり
参加者が少ないのはテーマが求められていなかったのかと意見あり。
現時点では、終末期の患者さんの対応の方がニーズが多いかもしれない
土日参加が難しいスタッフもいるので曜日等も検討必要かもしれない
グループメンバー情報を共有した
- 3、 講義資料 県立中央病院 武田さん
講義資料は当日配布する。
講義時間：30分
講義の真髓をどこにするか（本人の価値観、医療者との関係性の構築は大事、診断期に相談員が関わることで、今後患者・家族の強みにつながることもある）
混乱の中で、医師の話を聞けていないこともあり、自分のことが見えないこともある
自分が調べた情報に振り回されていることもある

混乱期から問題は発生していることもある

グループワークの前に相談支援のプロセスについて説明予定（塩見さん）

4、事例について（関木さん作成）

1) 盛り込んだポイントの確認

● 診断期の患者・家族にどのような支援が必要か

● 診断期の患者・家族に相談員としてどのような支援ができるのか、

- ・その人の価値観を尊重して決定したい、価値観が関係する治療法の選択
- ・自分たちがどういう状況に置かれているかの理解を助ける。
- ・治療に伴う仕事、お金、子供など、治療選択に迷う背景がどんなことなのかを引き出し、その人らしい治療選択ができるよう支援する。

（意識して盛り込んだ内容）

・胃全摘を勧められたが、ネットでダンピング症候群のことを知り、術後の症状や生活への影響を心配している。

・職場に迷惑をかけたくない思いがあり、早期に職場復帰できるようにしたいと考えている。一方、職場復帰した後の症状への対処や捕食の摂り方が気になりとなっている。

・独居で術後の症状や食事のことなど生活上の心配があるが、高齢の両親には迷惑をかけたくないという相談できないでいる。

2) 事例提示：当日寸劇

ここに出ていない情報は何をきくか、引き出していく

こころ、からだ、くらしの視点で考えていく

どんな課題があるのか支援方法を考えていく

作業内容の提示：ディスカッション内容について

企画側がどういう模範解答をするか考えていく必要がある

事例はもう少しわかりやすく混乱感を出してみる。

がんとともに生きていくスタートになる

がんと診断があり、その時の意思決定支援が、今後の意思決定に関わっていく

主訴や真のニーズをとらえて、本当に相談したかったことどんなことか、ということが意見の中に出てくるようファシリ・サブファシリが意識的に声をかけるとよい。

グループワークの作業について

司会・記録・発表者 役割決め

模造紙・付箋・ペンを準備、ホワイトボードは不要

5、ファシリ・サブファシリのポイント・作業

13：20～13：40（20）グループワーク①

事前課題にしている診断期の患者・家族の支援で困っていることをシェアする

診断期（あるいは治療が始まったばかりの段階）の患者・家族の支援における現状や困りごとは？

13：45～14：30（45）グループワーク②事例検討

治療選択の事例

① Aさんの意思決定上の課題なりそうなこと

② がん相談員としての支援計画

司会はファシリテーターが行う

書記、発表者はメンバーで決定し行ってもらおう

発表時、模造紙などに記入し発表する、可視化できるものを使用する

模造紙と付箋、マジックで記入する

四国がんセンターで確認してもらい、模造紙準備予定

15:45~16:10 (25) グループワーク③

事例検討の振り返り・明日からできること

① 全体共有や講義を踏まえて、診断期の意思決定支援において、私たちががん相談員が
何ができるか考えてみましょう

- ・ 新たに気づいたこと、再認識したことはどんなこと？
- ・ 各自の実践現場で活かしたいことを共有しましょう
- ・ ワーク①で挙げた困りごとの解決に向けて取り組めることは？

6、 全体進行（塩見さん）の流れ、PP 確認

司会進行、全体共有併せて担当する。

アイスブレイク・自己紹介 グループワーク 全体共有

7、 当日役割分担の確認

司会・進行	塩見		ファシリテーター	大西	濱田
オリエンテーション	塩見			佐伯	閨木
講師：講義①	武田		サブファシリ	武田	篠原
講師：講義②	武田知也先生			和田	福島
全体共有まとめ	塩見		会場設営	篠原	閨木
受付	武田	大西	会場までの案内設営	篠原	閨木

準備等役割 ※別紙 Excel 表参照

ちらし作成：川中・福島、申込フォーム作成：濱田、NCCⅢ群申請：篠原、
グループ・ファシリ分けリスト作成：和田、事後アンケート作成：佐伯・塩見、
事後アンケート集計・分析：閨木、報告書作成：大西、NCCⅢ群報告：篠原

8、 事後アンケートについて

回答方法 WEB スライド最後の頁に二次元コードで案内する

9、 運営スケジュールについて

随時調整※別紙 Excel 表参照

（当日資料）研修会 1 週間目事前メールにて配信（参加者に印刷して持参してもらおう）予定にしていたが、当日配布とする。

10、当日打ち合わせ予定 2024年3月16日(土) 10:00~11:30

8:30 暖だん解錠、控室暖だん3階ミーテングルーム①

9:00 研修室解錠、案内板・会場設営準備

10:00 打ち合わせ

(参考塩見さん全体スライドから)

プログラム: 10:00~11:30 (90) 運営委員、ファシリテーター、講師打ち合わせ

11:30~12:30 (60) 昼休憩

12:30~12:50 参加者受付

13:00~13:10 (10) オリエンテーション・開会挨拶

愛媛県がん診療連携協議会がん相談支援専門部会長

四国がんセンター 長谷部昌(予定)

13:10~13:20 (10) 導入・作業説明

13:20~13:40 (20) グループワーク①

診断期の患者・家族の支援で困っていること(シェア)

上記、考えてくることを宿題にする

13:40~13:45 (5) 事例提示(診断期の意思決定支援)

13:45~14:35 (50) グループワーク②事例検討

治療選択の事例。

13:35~15:05 (30) 全体共有

15:05~15:20 (15) 休憩

15:20~15:55 (35) 講義①「診断期の意思決定支援」

講師: 愛媛県立中央病院 武田さん

15:55~16:15 (20) グループワーク③

事例検討の振り返り・明日からできること

16:15~16:20 (5) 講義②導入・講師の紹介

16:20~16:50 (30) 講義②: ストレスマネジメント

相談員のためのストレスマネジメント/レクチャーとセルフケア体験

講師: 人間環境大学 総合心理学部総合心理学科講師

公認心理士 武田知也先生

16:50~17:00 (10) まとめ・閉会挨拶・事務連絡

(片付け)

17:15~18:00 運営委員、ファシリテーター、講師振り返り会

講師の先生の略歴を確認しておく

ストレスマネジメントの導入のところや講師紹介5分行う

がん相談員が元気になりたい、セルフケアになるだろう。

事前配布資料について: 事前に配布しない

進行スライドや事例、講義資料は当日配布する